

草

笛

社会福祉法人 日本民生福祉協会
 軽費老人ホーム 富士見が丘いこいの園

令和二年八月二十六日発行



「日々の生活を大事に」

猛暑の八月も残り僅か。今年の夏はコロナ対策で日本中が振り回されたものとなりました。年初から新型コロナウイルスの猛威が世界中に拡散され、私たちは遠い昔に経験したスペイン風邪のような目に見えない恐怖と対峙することになりました。

不思議なもので、このコロナ禍の中での3密回避、常時のマスク装着、不急の外出自粛が、生活の中に定着され、「新しい生活様式」としてまるでそれが以前からの当り前の生活であるかのように認識されているようです。

それでは、以前のような、人混みをかき分けてのイベント、賑やかなスポーツ観戦、顔を接しての飲食などはもう経験できないのでしょうか。

来年への延期が一応予定されている東京オリンピック、パラリンピックが開催されたとしても、新しい生活様式に沿った静かでまばらな歓声の中で行われるのでしょうか。

ウイルス自体が弱体化して消えて行ったり、広範囲の抗体が自然に実現したり、有効なワクチン接種でウイルスに対抗できる体が作られたりすることで、このウイルス禍を克服できないものかと祈念するこの頃です。



施設長 宮澤良男

令和2年5月～8月 生活・行事の様子

今年は、例年ございます季節の行事は、中止または、簡素化して行っております。



「どら焼き作ろう」桜



「ラーメン作り」(ネギを刻んでいます) 柚



「毎朝の歩行訓練」



「かき氷美味しいよ」



「ラジオ体操、元気よく」



「健康教室でストレッチ」



「美味しく茹であがったよ」楓



いこいの園では現在以下の感染症対策をとっております

1. 原則面会禁止。外出、外泊についても禁止。
2. 丁寧な手洗いの実施。アルコールによる手指の消毒。
3. 受診等やその他やむをえない外出時のマスク着用。

以上が利用者様にご協力いただいていることです。

ご家族様にご協力いただいていることは、原則としての面会禁止、外出外泊の禁止へのご協力、そしてお電話等での精神的な支えへのご協力です。

出入りの業者様には、入館の際は検温の実施、マスクの使用、手洗いをお願いしております。

施設としては、職員のマスク着用、頻繁な手洗い、換気の実施、館内のドアノブ、手すり等手がよく触れる部分の消毒の実施をしております。



注:ご利用者様は館内ではマスクはしておりません。

ご家族のみなさまへ

新型コロナ感染防止対策の中で一番心苦しいのは、面会制限であり、外出、外泊制限です。ご家族とのご面会や外出を心待ちにされている方々に、それを我慢していただくことは、普段は考えられないことです。

私たちが皆様に協力をお願いしている感染対策が、本当に有効なものなのか、実は見当外れなものもあるのではないかと心配してしまうことがあります。それでも現在このウイルスの感染を防ぐために有効だと言われている対策をとることが、私たちの責任だと考えています。



苦情の受付

投書箱で、以下のご意見がありました。

(令和2年4月から令和2年7月まで)

苦情	1 件
要望	4 件
相談・問い合わせ	2 件
合計	7 件

苦情受付担当者 石橋菜穂子
苦情解決責任者 宮澤 良男

(要望) 3階娯楽室施錠しているが、開放してほしい。

(回答) 宇野眼科の検査機械等が置いてあるため施錠をしています。利用時は気軽に職員に伝えていただきたいです。

(要望) 健康上、牛乳の提供を増やしてほしい。

(回答) 食事時、飲まれず処分される方も居り、提供回数を減らしている。献立は全て必要栄養量を満たしたものです。

(要望) 外出したい。

(回答) コロナウイルスの関係です。ご協力をお願いします。

(苦情) 書道クラブの作品を取り換えてくれると言ったのにすぐに貼り換えてくれなかった。

(回答) 書道クラブはお休みがあったので、遅れました。すぐに貼り換えます。

(要望) 窓を開けてほしい。

(回答) 防犯上、開けられる範囲を調整しております。大きく開けられないことは申し訳ありませんがご理解ください。

<ショートステイ通信>

コロナ禍の中で、「新しい生活様式」をショートステイでも取り入れています。ご利用時の体調確認と検温は、ご家族様の協力の下継続しています。来園時は必ず手洗いをご案内し、食堂席はソーシャルディスタンスの座席配置としています。

不自由をお掛けすることもあります。ご利用者様の変わらないお顔に接するとホッとします。

十分に距離を取りつつ、楽しくおやつ作りや行事を楽しんで頂くよう職員一同取り組んでまいります。(下の写真) おやつの白玉あんみつを作りました。



「白玉丸めてます」

「白玉あんみつの出来上がり」



「寒天を切ってます」



<編集後記>

夏の終わりに、ご利用者様の日常のご様子を知っていただこうと考えました。制限された中で、精一杯普段の生活が実現できますよう、職員もいろいろ工夫をしております。でも一番ありがたいのは、笑顔を絶やさないでいてくれるご利用者の皆様の存在です。

(み)



発行元 社会福祉法人 日本民生福祉協会
軽費老人ホーム富士見が丘いこいの園
〒419-0121 静岡県田方郡函南町大竹20-1

電話 055-944-6644

FAX 055-944-6714